

系	統	弱溶剤アクリルウレタン樹脂上塗材										
特	長	1) 塗膜表面に耐光性をもたせ、紫外線による塗膜の劣化を防止する。 2) ローラーあるいは刷毛で塗布することができ作業性に優れる。										
用	途	1) SBトフコートAU工法の上塗材 首都高速道路(株)橋梁構造物設計要領(コンクリート片剥落防止編)はく落防止工 同等										
配	合 比	主 剤 : 硬化剤 = 6 : 1 (重量比)										
荷	姿	14kgセット (主剤/12.00kg、硬化剤/2.00kg)										
外	観 性 状	主 剤…グレー液状 硬化剤…淡黄色液状 混合物…グレー(標準色 GN-75)液状										
可	使 時 間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>温 度 [ °C ]</th> <th>5</th> <th>10</th> <th>20</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可 使 時 間 [ 分 ]</td> <td>720</td> <td>600</td> <td>420</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table>	温 度 [ °C ]	5	10	20	30	可 使 時 間 [ 分 ]	720	600	420	240
温 度 [ °C ]	5		10	20	30							
可 使 時 間 [ 分 ]	720	600	420	240								
塗	装 間 隔											
比	重	1.00~1.20(混合物液比重)										
標	準 使 用 量	0.12 kg/m <sup>2</sup>										
希	釈 用 シンナー	希釈しないで使用すること										
貯	蔵 保 証 期 間	3か月(未使用、冷暗所保存)										
消	防 法 に よ る 区 分	主 剤 危険物 第4類 第2石油類 硬化剤 危険物 第4類 第2石油類										
使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 色むらが生じないように、均一に混合攪拌する。 3) 刷毛、ローラー等で塗布する。										
使	用 上 の 注 意	1) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 2) 汚れ、油等の付着した塗膜への塗装は避ける。 3) 湿潤面への施工は避ける。 4) 可使時間内に塗装作業を終了する。 5) 塗装時は換気を十分に行い、火気厳禁とする。										

**⚠ 注 意**

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については製品安全データシート(MSDS)を参照してください。